

修正の経緯

(1) 4月の分科会、委員会を経て、大幅な修正を行い、5月16日に分科会、委員会委員に送付(5月26日締め切り)。

- 提言に人材育成を追加
- 安全神話の脚注修正
- 総合工学等の活動追加
- 被災地の現状で最新事情を加筆、除染も加筆
- 帰還に関する意識調査追加。
- 健康管理 大幅な加筆。
- 経年劣化問題など加筆
- 再生エネルギー大幅加筆
- 海外の記述削除
- 規制委員会・避難等について加筆修正
- 世論調査など、記述の簡略化。NHK等の調査追加。
- 第6章を 自立。

(2) 意見を踏まえて、6月2日 分科会に向けて修正版(5月29日版)作成
中嶋英雄委員、大塚委員、金本委員、山地委員、等からご意見。

(3) 6月2日に最終分科会。

(4) 6月12日版を分科会委員に送付。17日までに修正意見

(5) これらを踏まえて下記を修正。

1. 肩書などの修正
2. 要旨 2. 「現状及び問題点」 3行目 希望⇒要望
3. 要旨 提言 2、 「国と事業者・・・」名宛人を明確にした。
4. 同上。 「稼働中から廃炉に至るまで」を挿入。
5. 要旨 提言 5 再生可能エネルギーのバックアップ電源 に言及。
6. 要旨 提言 6 人災育成についての記述充実(幅広い専門性を持った人材)
7. 要旨 提言 7 表現上の修正
8. 本文 P. 2 脚注 2 安全神話の説明修正。
9. 本文 P. 3 下から 8行目(「原子力の利用・・・」で始まる段落の直前) 健康影響評価・医療の在り方分科会の審議に関する記述を加えた。
10. 6頁 2 (2) 終わりから 7行目 「自主的避難等に係る個人の損害」とした。
11. 7頁 2 (3) 第1段落の終わり、第2段落の終わりなど。公的な健康検査などの紹介と、それへの批判を記述し、健康管理の課題を明確にした。脚注を含めて記述を充実させた。
12. 3 (1) および脚注 18 事故の事実関係についての記述の正確化。

13. 4(2) 火力発電の地球温暖化問題に関する記述追加。
14. 5(4) 人材育成について、エネルギー全般との関係、幅広い知識等を重視した形で修正。
15. 6 最後の文。種々議論を経て、まとめた。
16. 提言2 上記4と同趣旨。
17. 提言5 上記5と同趣旨。
18. 提言6 上記6と同趣旨。
19. 上記7と同趣旨。